

(工事監理・工事状況) 報告書
S、SRC造(第1及び2回特定工程)2階床部分

平成 年 月 日

株式会社 東北建築センター 様

確認済証番号	平成 年 月 日 第 号
建築主氏名	
建築場所	

上記、工事中の建築物の(工事監理・工事状況)に係る結果を次のとおり報告します。

報告者	() 級建築士 (大臣・知事) 登録第 号		
工事監理者	() 建築士事務所 () 登録第 号		
	住所		
	代表者		印

設計図書と照合した結果、変更は ありません。
 ありますので、別添のとおり報告書を添付します。

確認項目	内 容	工事監理者用		東北建築センター検査員用		摘 要			
		検査結果	指摘番号	検査方法	結 果				
報告書 審査 による 確認 事項	指定建築材料 の品質確認	a	鋼材、高力ボルトセットの規格・品質の確認			C	適・否		
		b	溶接材料の規格と鋼材組合せの適否			C	適・否		
	組立検査	c	開先角度、ルート面、ルートギャップ、食い違い等組立時の鉄骨精度			C	適・否		
		d	高力ボルトの接合部の摩擦接合面の処理、ボルト孔の径・ピッチ			C	適・否		
		e	外観検査及び超音波探傷検査結果			C	適・否		
現場 検査 事項	全体 材料の品質 規格確認	a	鋼材等の品質規格証明書と現物との照合			A C	適・否		
		b	溶接材料の規格と鋼材の組合せ適否			A C	適・否		
		部材の配置	c	柱・はり・ブレース・床版等の配置			A C	適・否	
			d	柱・はり・ブレース・床版等の寸法・形状			A C	適・否	
	柱 脚 部	共通 露出形式	a	柱脚部接合方法と仕様確認			A C	適・否	
			b	アンカーボルトの材質・径・本数とナットかかり高さ			A B C	適・否	
			c	座金の使用、ナットの戻り止め措置(ナット戻り止めは、二重ナット、ナット溶接)			A C	適・否	
			d	アンカーボルトの定着長さ			A B C	適・否	
			e	ベースプレート厚さ、アンカーボルトの孔径、縁端距離			A B C	適・否	
	根巻き形式		f	根巻き部分の高さ			A B C	適・否	
			g	根巻き部分の立上り主筋本数、主筋頂部のかぎ状加工、立上り主筋の基礎及び根巻き部分の定着長さ			A B C	適・否	
			h	根巻き部分の帯筋の径、配置、フック形状、結束			A B C	適・否	
			i	スタッドの径・長さ・本数・配置			A B C	適・否	
			埋込み形式		j	柱の埋込み長さ			A B C
k	側柱・隅柱のU字形鉄筋による補強					A B C	適・否		
l	鉄骨かぶり厚さ					A B C	適・否		
m	スタッドの径、長さ、本数、配置					A B C	適・否		

現場検査事項	工場加工溶接部分の外観・形状・寸法 (柱-大梁、大梁-小梁接合部等)	a	溶接継目の種類 (突合せ溶接・すみ肉溶接)	A C	適・否	
		b	ダイヤフラムとフランジのずれ	A C	適・否	
		c	突合せ継手の食い違い	A C	適・否	
		d	アンダーカット	A C	適・否	
		e	溶接割れ	A C	適・否	
		f	その他の溶接部の外観・形状・寸法 (スラグ、スパッターの除去等)	A C	適・否	
	現場溶接部分組立精度	g	開先角度、ルート面、ルートギャップ、食い違い等組立時の鉄骨精度	A C	適・否	
	現場溶接部分の製品検査	h	外観検査及び超音波探傷検査結果	A C	適・否	
	現場溶接部分の外観・形状・寸法	i	現場溶接の部位 (設計図書との照合)	A C	適・否	
		j	溶接継目の種類 (突合せ溶接・すみ肉溶接)	A C	適・否	
		k	ダイヤフラムとフランジのずれ	A C	適・否	
		l	突合せ継手の食い違い	A C	適・否	
		m	アンダーカット	A C	適・否	
		n	溶接割れ	A C	適・否	
		o	その他の溶接部の外観・形状・寸法 (スラグ、スパッターの除去等)	A C	適・否	
	高力ボルト接合部	トルシア形ボルト	a	現場受入検査 (導入張力確認試験) 実施状況確認	C	適・否
			b	HTBの径・本数・スプライス数・ピッチ・縁端距離・孔径の確認	A C	適・否
c			摩擦接合部の摩擦面の状態	C	適・否	
d			締付け状態の確認 (肌すき、ピンテール破断、マーキングの状態)	A C	適・否	
JIS形六角ボルト		e	JIS六角ボルト締付機器の調整、現場受入検査 (導入張力確認試験) 実施状況の確認	C	適・否	
		f	HTBの径・本数・スプライス数・ピッチ・縁端距離・孔径の確認	A C	適・否	
		g	摩擦接合部の摩擦面の状態	C	適・否	
		h	締付状態確認 (肌すき、マーキングの状態)	A C	適・否	
ブレース接合部	a	ブレース形状、寸法、位置	A C	適・否		
	b	ブレース仕口接合部形式、板厚等設計図書との照合	A B C	適・否		
2階床	a	デッキプレート合成床版の場合 デッキプレート厚、はりとの溶接	A C	適・否		
	b	スタッド合成床版の場合 スタッド径、長さ、ピッチ	A B C	適・否		
	c	スラブ厚寸法、鉄筋ピッチと径	A C	適・否		
	d	主筋配置 (短辺・長辺) と支持条件	A C	適・否		
	e	定着長さ と定着位置	A B C	適・否		
	f	継手の位置・長さ	A B C	適・否		
	g	開口部補強筋	A C	適・否		

※ 検査方法 A 目視検査、B 計測検査、C 工事監理者報告

※ 二重線枠内には記入しないでください。

工事監理者指摘項目等の記録

指摘番号	内容及び結果

※ この報告書は、鉄骨部分の確認項目を中心に作成しています。必要に応じてRC造の報告書も記載し添付して下さい。

事務処理欄

受付日	年 月 日	指示書発送日	年 月 日	第1回合格日	年 月 日
検査日	年 月 日	合格日	年 月 日		年 月 日